

【暁の家】～住宅密集地で、3つの庭と豊かに暮らす～

設計：大橋利紀建築設計室
 施工：Livable リヴアース



東棟：住居（手焼きの焼杉）

西棟：事務所（かき落とし）

版築

北の庭 / 外観



域わずか3m程のアプローチ豊に表現
 北の庭 / アプローチ



風景の良い所だけに窓を配置
 南の庭 / 玄関ホール

「暁（あかつき）」とは、太陽の昇る前のほの暗いころ、明け方を言います。また、待ち望んでいたことが実現するの意味もあります。建物の構成は、東棟と西棟の2つに分かれます。

東棟はモデルハウスで、西棟は事務所兼打ち合わせスペースです。2棟をつなぐ形で東棟と西棟の中央に中庭とつながる玄関ホール空間を設置しています。

住宅地に立地し、南西は隣家が倉庫、西は隣家が近接し敷地の日照条件は必ずしも良いとは言えない土地です。北側と東側の2面接道ということもあり、北と東の空への視線の抜けがあります。

この特徴を活かし、北・東・南に庭を配し、それぞれ表情の異なる3つの庭と室内空間を連続させました。中でも一番大きな開口は東にあり、特に夜明け前から朝日の入ってくるまでのドラマチックな空の変化を楽しめる特性をもっています。庭は東棟の三方を覆うように設置し、隣接した住宅や道路からの視線を遮りながらも周辺を行き交う人へ緑のお裾分けも同時に行います。また雨水を利用した小川が庭に深みを与え、夏の打ち水効果で建物周辺の気温上昇にも寄与します。

最新の研究知見を元にした技術や伝統の職人技術、現代の匠の技術を駆使し、特別な素材を使用し、「普段の暮らしを特別な空間にする住まい」を目指しました。

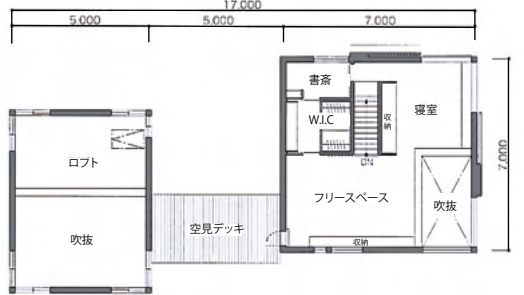


カーテンを閉めない暮らしの実現
 東の庭 / 畳リビング

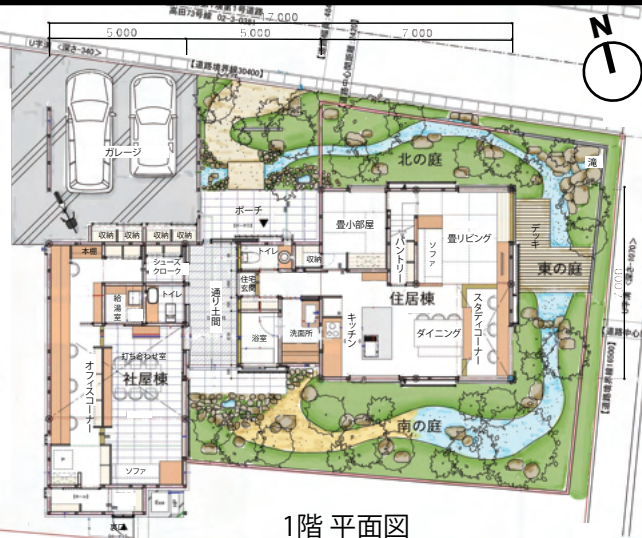


風景の抜けのある南東に窓を配置
 / ダイニング・スタディコーナー

3方の「風景の抜け」のある場所に
 異なる質の3つ「庭」を作り、
 その場所に室内外の「居場所」重ねる。



2階 平面図



1階 平面図



畳リビングの奥に、罫り口的な入口
 / 畳リビング



限られた庭の奥行を、高密度な庭に
 東の庭 / デッキ+滝

・建築地：岐阜県養老郡養老町高田 敷地面積：512.26m² ・1階床面積：84.00m²（住宅部分）149.00m²（全体）・2階床面積：57.00m²・延床面積：141.00m²（住宅部分）206.00m²（全体）
 ・構造：在来軸組木造・耐震性能：耐震等級3（準耐力壁含まず）・許容応力度計算済・保有水平耐力計算済・断熱性能 UA値：0.31 C値：0.4 ηAC：1.2
 ・換気設備：第一種ダクトレス熱交換式・空調設備：壁掛けエアコン（夏用1台 冬用1台）・給湯設備：エコキュート